



Q：子どもが下痢・嘔吐おうとをしていてノロウイルスではないかと心配です（30代・主婦）

A：冬になると下痢・嘔吐を伴う感染性胃腸炎が流行しますが、その原因の1つがノロウイルスです。とても感染力の強いウイルスで、潜伏期間は1～2日と短く、激しい嘔吐や下痢、腹痛・発熱・倦怠感などが通常1～3日ほど続き、回復します。ただ、乳幼児や高齢者など体力の弱い人の場合、脱水症状を起こしたり、重症化して死亡することもあります。また、患者の下痢便や嘔吐した物には大量のウイルスが含まれており、乾燥して舞い上がったものを吸

い込んだだけでも感染しますので、マスクや手袋を着用するなどして、直接触れないように処理しましょう。

治療ですが、現在このウイルスに対する特効薬はなく、激しい嘔吐を抑えたり、脱水症状を緩和するために点滴をするような対症療法になります。下痢止め薬は、感染初期の段階では、ウイルスを排せ



つさせた方が良くとの考えから、病状によっては使用しないことがあります。家庭では、脱水を防ぐために、スポーツ飲料を人肌に温めて、少量ずつ摂取してください。

（岡田俊一・おかだ内科クリニック院長、甲府市北口2-9-12、ニシコー北口駅前ビル2F）

☎055・288・1801